



2019.01.15 News 百賢アジア研究院「AFLSP 奨学生懇親会兼新年会 2019」

百賢亜州研究院（香港）は、百賢教育基金（香港）の出資により設立され、奨学金及びその他関連する教育プログラムを運営している教育基金。



創設者、香港出身のロナルド・チャオ氏（名誉理事長）は1958年日本に留学し、東京大学工学部に入学した。学生時代、NPOの企画する学生交流のプログラムに参加した経験が生涯の財産になったと私財を投じて「アジア次世代指導者奨学金プログラム」The Asian Future Leaders Scholarship Program (AFLSP) を創設。同時に東京で日本百賢アジア研究院を設立し、次世代のアジアの指導者育成のビジョンで活動を進めている。

日本百賢アジア研究院では、今秋で5年目を迎える

「アジア次世代指導者奨学金プログラム AFLSP」

で、今年も日本の大学に在籍する奨学生および日本で活躍している卒業生を招き「AFLSP 奨学生懇親会兼新年会 2019」を開催。当日は、百賢亜州研究院ロナ・チャオ CEO が香港から来日。奨学生のネットワークの構築支援を支えることは重要なミッションの一つであるとして、日中の若者の交流・友情・理解、アジアの指導者育成を促進したいと述べた。

AFLSP では、毎年100名ほど、アジアの次世代の指導者となることが期待される高い能力と向上心を持つ学生・研究者を選抜し、12～24ヶ月の奨学金を支給するプログラムを実施している。<http://baixianjapan.com/>

未来を創る財団では2017年1月、香港にロナルド・

チャオ氏を訪ね、今後の交流を約した。関連掲載記事：2017.1.12「日中アジア、学生交流・奨学基金に私財 —香港の篤志実業家曹基鏞氏を訪問」<https://bit.ly/3czEMDw>

